

所報 いぶり

胆振教育研究所
第1号

令和2年6月26日発行

所長挨拶

今年度、胆振教育研究所所長を務めることになりました、登別市立緑陽中学校の野崎です。

本研究所は昭和25年に始まり、70年の歴史を有します。その間、現場の先生方が所員となり、学校訪問をして各校とともに学び、ともに胆振の教育の発展と充実に努めてまいりました。ご協力いただいた各市町教育委員会並びに関わっていただいた全ての方々に、改めて深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症にかかわり、本来の教育活動がままならない今こそ、各校の実践をつなぎ、高めあうことの重要性を一層強く感じています。所報を中心に、研究委託校・実践校や本研究所の取組を随時発信してまいりますので、各校や私どもにご相談いただくなど積極的にご活用いただき、それぞれの教育活動の充実に生かしていただければ幸いです。

皆様とともに胆振の教育のために全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

所員 紹介



所長 野崎 均
(登別市立緑陽中学校)



副所長 立花 和実
(伊達市立伊達中学校)



事務局長 高橋 賢治
(登別市立富岸小学校)



事務局次長 村井 淳一
(伊達市立伊達中学校)



所員 本所 章宏
(伊達市立伊達小学校)



所員 武田 成永
(登別市立緑陽中学校)



所員 藤田 宣夫
(登別市立幌別西小学校)



所員 石井 芳政
(伊達市立伊達西小学校)



所員 宮崎 雄太郎
(伊達市立光陵中学校)



所員 黒川 知恵
(白老町立白老小学校)

事務職員
水 留 恵美子

胆振教育研究所の事業

企画・運営

● 夏季研修講座

※今年度は開催しません。

● 冬季研修講座

「続・通常学級における特別支援教育」(仮)

令和3年1月12日(火)実施予定

.....
現職のニーズに応じ、指導力の向上につながる講座を企画していきます。

合同研修会

本研究所の研究推進計画の説明や研究委託校・実践校の研究の概要、研修推進の課題・成果について交流していきます。

.....
第1回 6月 書面にて実施 第2回 11月 書面にて実施予定

所員訪問

研究委託校・実践校との連携

研究委託校・実践校の研究にかかわって、共に学び、情報の提供を行います。

共同研究

校内研修・公開研究会への参加・協力

随 時

胆振教育研究所

● 所員研修会

事業の検討・実施…所員10名

● 場 所

カント・レラ(4~11月)

登別市民会館(12~3月)

カント・レラの閉鎖に伴い、年度途中で登別市民会館に場所を移すこととなります。

作成・提供

刊行物・紀要

- 今日的な教育課題等を踏まえ、日々の教育活動に結び付く実践的な研究を進めています。
- 各校の実践により役立つような紀要等の発行に努めてまいります。ぜひ、ご活用ください。

2月発行予定

広報活動

研究委託校・実践校の特色ある教育活動や優れた取組、本研究所の活動内容をわかりやすくお伝えしていきます。

- 教育いぶり…年2回 ■ 所報いぶり…年5回
- ホームページ…随時更新 <http://www.iburi-education.jp>

支えていただく9市町

- ・登別市 ・伊達市 ・豊浦町 ・洞爺湖町
- ・壮瞥町 ・白老町 ・安平町 ・厚真町 ・むかわ町

理事会

9市町教育長で構成。研究所の組織運営に関することを決定します。

運営委員会

各市町教育研究会の代表者、胆振教育局、へき地複式教育連盟代表者、社会教育代表者で構成。各事業推進に向けた支援など、研究所と各市町や関係機関を結ぶ役割を担っています。必要に応じて開催します。

研究所退任者挨拶

● 前所長 土井 嘉 啓

(苫小牧市立苫小牧西小学校 校長)

2年間の在任期間中、胆振教育局をはじめ各市町教育委員会、並びに研究委託校・実践校の皆様
の温かいご支援・ご協力のもとで円滑に教育研究
所業務を進めていくことができましたことに心か
らお礼を申し上げます。また、本教育研究所の研究
活動や事業が円滑に推進できたのは、所員全員
の努力があったからこそであり、所員の先生方に
心から感謝を申し上げます。

今後も、関係機関との連携を密にしながら現場
のニーズに応える情報発信を目指し、胆振管内の
先生方の授業改善や資質・能力の向上に資すると
共に、所員の資質・能力も高まる胆振教育研究所
であることを期待し、退任のご挨拶とさせていただきます。

● 前所員 牛 島 夏 陽

(伊達市立東小学校 教諭)

胆振教育研究所の所員として5年間お世話にな
りました。常に先進的な話題に触れ、他校の先生
方と意見を交わすことができ貴重な経験となりま
した。管内の小中学校の皆様には、学校訪問で、
胆振管内で進められている貴重な実践を多く参観
させていただき大変勉強になりました。また、調
査課題研究でアンケートにご協力いただいたり、
教育理論研究ではいろいろな学校の実践を参考に
させていただいたり、感謝申し上げます。

これからは、所員としての経験をいかし、研究
所の今後の研究を学びながら子どもたちのために
日々研修に励んでいきたいと思っております。貴重な時
間となりました。ありがとうございました。

我が校の

感

染

予

防

対

策

～白老町立白老小学校編～



低学年は人との距離感
がまだ分からない子が多
いので、このような棒を
先生方が持って知らせて
います。



廊下を歩く際に距離を確認できるよ
うに、このような表示があります。視
覚的に認知することにより、ソーシャ
ルディスタンスを呼びかけています。



※所報で実践紹介をしてもよい学校は、
胆振教育研究所までご連絡ください。